

ふろっぴ U 君、FDD 一体モデルの組み立て図

ふろっぴ U 君は単体では細長（縦長）のケースに入っていますが、FDD セットの場合、右のように、FDD を格納したケースのわきに張り付くことができます。



§ 内容物

A. ふろっぴ U 君基板



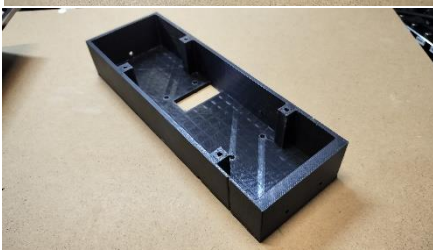
B. パーツ①

小基板①を取付る天井板になります。



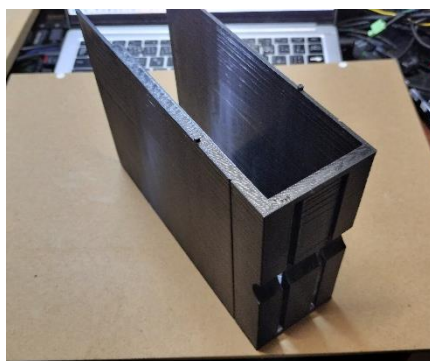
C. パーツ②

アクリル棒が 2 本ついた上部パーツです。上部にパーツ①を取り付けます。



D. パーツ③

FDD を格納するパーツです。



E. パーツ④

ボタンパーツを差し込み、小基板②をねじ止めるパーツです。



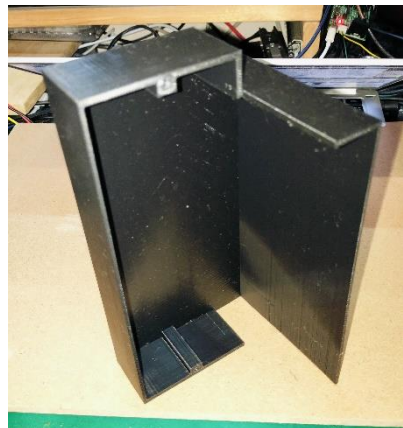
F. パーツ⑤

底パーツです。パーツ④に固定します。表裏に差異があります。



G. パーツ⑥

背面パーツになります。これを付けると FDD 通信ケーブルが隠れますので、FDD エミュレータなどを併用したい場合、取り付けないようにします。パーツ②とパーツ④でネジ止めするパーツになります。



H. パーツ⑦

小基板②のボタンを外側に出すためのものになります。パーツ④の前面の穴に裏側から差し込んで使うものになります。



I. パーツ⑧

ふろっぴ U 君を格納するパーツです。部品の乗っている面を隠すようにはめ込みます。



J. パーツ⑨

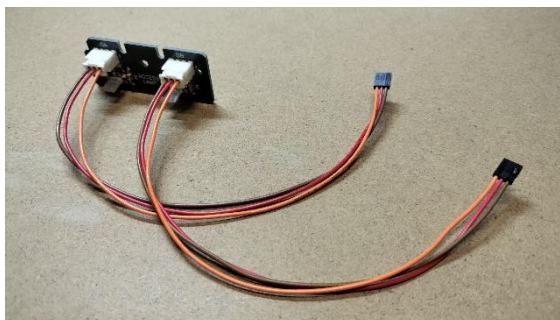
パーツ⑧の蓋になります。



K. 小基板①

LED2 つ搭載の小基板です。ケーブルは 3 芯のものが 2 本つきます。ケーブルは小基板の内側の溝を通す感じに後ろ側に持っていく形になります。

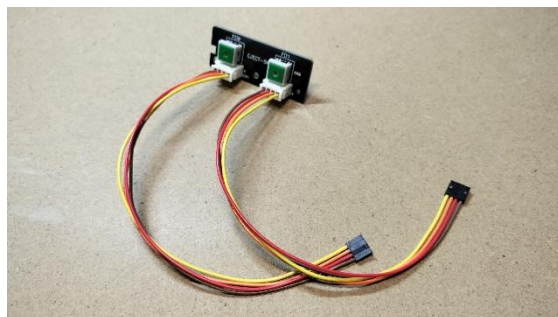
*実機取り外し品でも代用できます。



L. 小基板②

LED 付きのボタンが 2 つ付く小基板です。4 芯のケーブルが付きます。ケーブルは（取付時に）180° 反転する感じに固定することになります。

*実機取り外し品でも代用できます。



M. 電源ケーブル①

4 芯の大きな口から、3 芯のむき出しの 3 芯が 2 つになっている電源ケーブルです。3 芯側を FDD の背面のコネクタに、4 芯側を、電源ケーブル②に接続します。



N. 電源ケーブル②

100V コンセントと 4 芯に変換する AC アダプタを含む電源ケーブルです。

4 芯側を電源ケーブル①につなぎます。



O. 電源ケーブル③

USB からふろっぴ U 君の基板に電源を供給するケーブルになります。



P. 通信ケーブル①

FDD とふろっぴ U 君基板をつなぐケーブルになります。



Q. ネジ①

12 個あります。8mm 長のもので。

*磁石につかないものもあります。



R. ネジ②

ネジ①に似ていますが 12mm 長あります。

4 個あります。

*磁石につかないものもあります。



S. ネジ③

頭が平らの黒い短いネジです。8 個あります。



T. ネジ④

細い黒いネジです。ふろっぴ U 君の入れるケース（パーツ⑧）を止めるの使います。6 個あります。デカールが同封されています。



U. 金具

電源ケーブルを束ねてケースに張り付ける金具です。



§ 必要工具

A. プラスドライバー

ネジを止めるのに必要です。

B. はさみ

デカールを切るのに必要です。

C. つまようじ

ケースの反りがある場合にホイールがすらないように必要です。

D. テープ

つまようじを固定するものです。

§ あるといいもの

A. 3.5mm ドリル

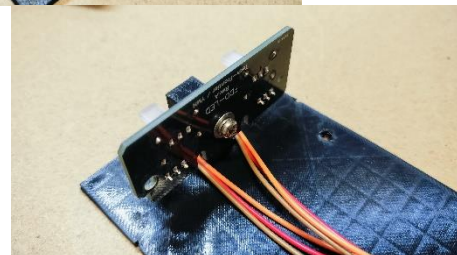
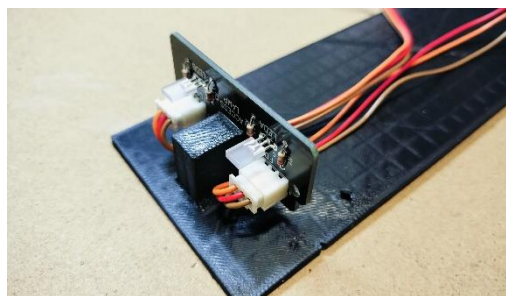
パーツ⑧の未貫通ネジ穴をあけるのにあるといいです。

B. ピンセット

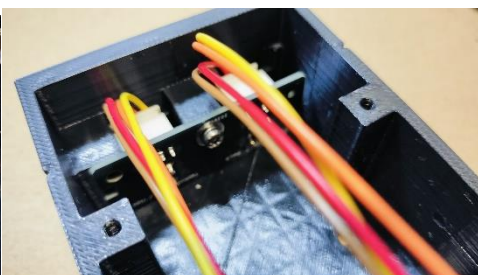
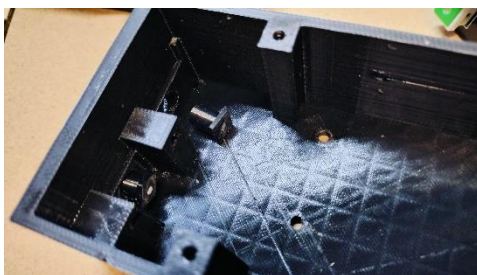
デカールを張るのにあったほうがいいです。

§ 組み立て

- A. まず、パーツ①に小基板①を取り付けます。LED が前になり、且つ、ケーブルが板側になるようにします（基板の溝を通し後ろに回す）。固定にはネジ①を使います。



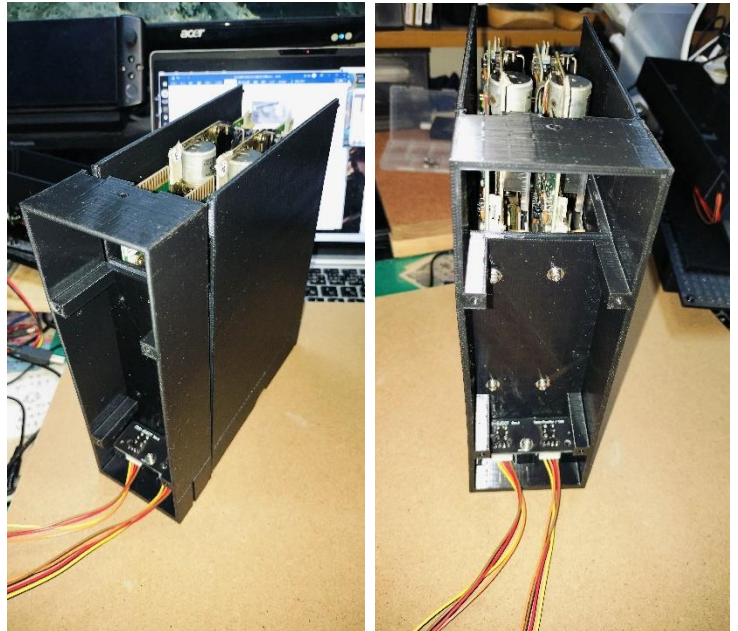
- B. 次にパーツ⑦をパーツ④の2つの穴に内側から入れておきます。そして、小基板②をボタンが下に、そしてパーツ⑦側に向くように取り付けます。ネジ①を使います。ケーブルが上になるように折り返しておいてください。



- C. パーツ③をスロットのあるほうを下にして置き、FDD 2つを中に格納します（DIP スイッチをドライブ 0 と 1 にしておく必要があります）。板の厚いほうがドライブ 0 になるように配置します。また、ホイールは薄い板側に向けます。



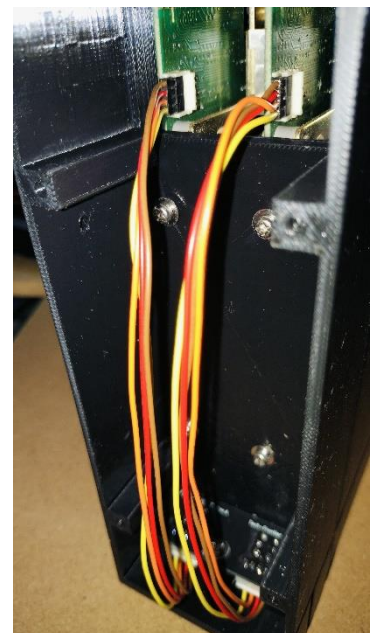
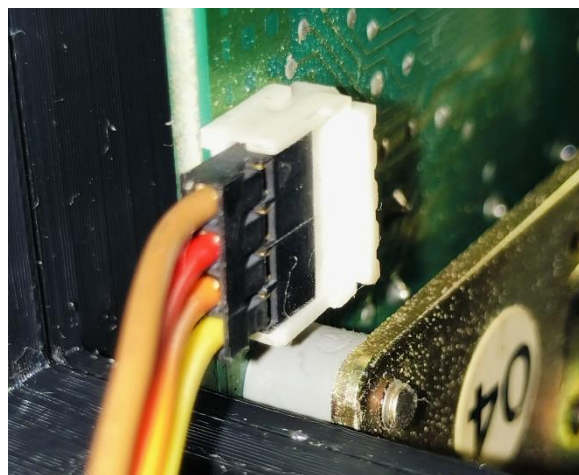
D. パーツ③の底側にパーツ④を合わせます。溝で合わせると向きは分かると思います。そして、パーツ④のネジ穴からネジ②を使い、FDD のネジ穴に固定していきます（4 か所あります）。その際、工程 F.で反対側を固定するまで、仮止めしておくほうが楽です。



E. ケースに反りがあることがあり、ホイールが回るとシャカシャカいう個体があります。なので対策として、ドライブ1側のホイール側のいずれかのコネクタを桁にケースと FDD の隙間が開くように、つまようじを差し込み固定します。

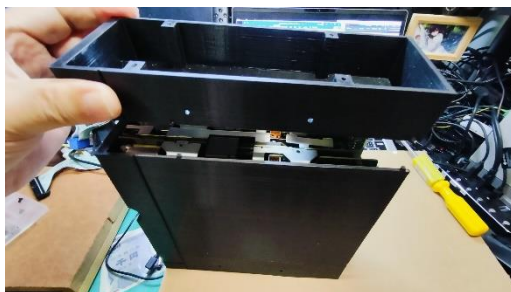


F. 小基板②のケーブルを FDD のコネクタに差し込んでおきます。コネクタの金具が見えているほうを基板の反対側になるように刺します（どちら向きでも刺さってしまうのでご注意）。

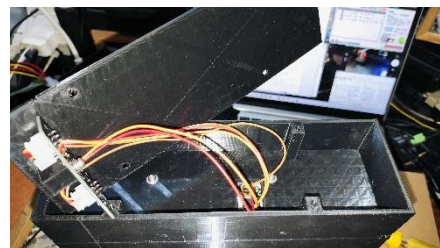


- G. パーツ③と FDD の上部にパーツ②を配置し、溝を合わせて、ネジ①を使って FDD に固定していきます（4 か所あります）。

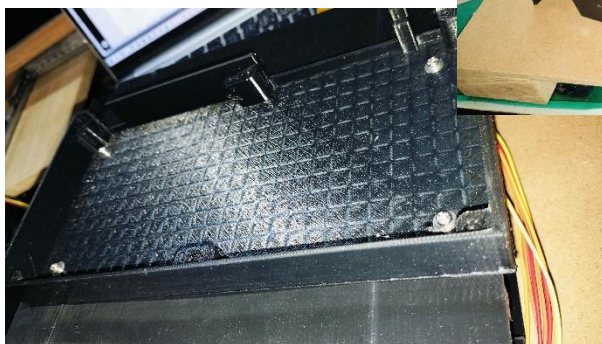
工程 F で仮止めしていた
部分を固定します。



- H. パーツ①に固定した小基板①のケーブルを FDD のコネクタに差し込んでおきます。コネクタの金具が見えているほうを基板の反対側になるように刺します（どちら向きでも刺さってしまうのでご注意）。



- I. パーツ⑧をパーツ②とパーツ④のネジ穴に合わせて取り付けます。ネジは①を4個使います（パーツ⑧はネジ穴が貫通しておりません。とがったもので裏側から貫通させてください（3.5Φのドリルがベスト）。ケガがしないようにご注意ください。



- J. パーツ⑧にふろっぴU君基板をはめ込みます。電子部品の乗っている側を隠すようにはめ込みます。そして、パーツ⑨をネジ④を使い、固定していきます。



- K. 続いて配線します。通信ケーブル①を FDD のコネクタに差し込んでいきます。カードエッジに溝があるほうが PIN1 なので、通信ケーブル①の赤い線があるほうを PIN1（下部側）のほうに向けて差し込みます。通信ケーブル①の反対側をふろっぴU君基板のコネクタに差し込みます。

L. 続いて電源ケーブル①を FDD のコネクタに差し込んでいきます。

0, 1 はありませんのでどちらを差しても大丈夫です。

金具でコードをまとめ、差し込み後、側面に貼り付けます。

このコネクタは弱いので力が伝わらないようにします。



M. この時点で、パーツ⑥を使わない場合、O. へ。パーツ⑥を付けると、FDD 通信ケーブルコネクタが隠れてしまうので、FDD エミュレータなどを併用する場合は開けておいたほうがいいでしょう。

N. パーツ⑥を付けるために通信ケーブル①をまとめ、電源ケーブル①を下に向け、パーツ⑥を合わせます。パーツ②の背面の穴とパーツ④の背面の穴から、ネジ①を使ってパーツ⑥を固定します。

パーツ②を受けからみたところ
穴があるので、パーツ⑥の
ネジ穴に固定します。



O. パーツ①、パーツ⑤をネジ③を使って、それぞれ、パーツ②、パーツ④に固定していきます（全8か所）。

P. デカールを切り出し、それぞれの場所に貼っていきます。デカールをはさみで切る時一片を、紙に対して垂直ではなく 45 度くらい傾けて切ると、デカールと台紙が剥離しやすくなります。



Q. 最後に、電源ケーブル②を電源ケーブル①に差し、電源ケーブル③をふろっぴU君に接続して、それぞれを電源（100V と USB）につないで完成です（電源ボタンはないので、OFF にしたい場合、それぞれを抜く必要があります）。